

津山市議会議員

政岡あきひろ

議会報告

津山市の皆様には議会活動などをわかりやすく報告し、市政に関心を持っていただくために発行しています。この報告紙は政務活動費で発行しています。



ごあいさつ

津山市民の皆様、いつも大変お世話になっております。「政岡あきひろの議会報告」第二十八号が、出来上がりしましたのでご覧いただきたいと思っております。

いつも申し上げておりますが、この議会報告は、新聞や広報紙、或いはYouTube等の津山市議会の様子や、議員としての私の活動内容について、わかりやすくお伝えするために作成しています。



代表質問

毎年、三月議会においては、各党派による代表質問が行われるのが通例です。私も、会派未来を代表して登壇し、代表質問を行いました。

一方、この三月議会に上程された令和四年度予算は、二月に行われた市長選挙直後という点もあり、骨格予算となり示された。また、通常市長により示されるはずの所信表明も、六月議会においてされることとなりました。

本来、代表質問はその所信表明を受けて行うべきものではあります。しかしながら、つい先日市長選挙を終えた市長の思いを聴き、二期目の市政運営に臨む考え方を質すことは、私達議員に課せられた二元代表制の責務を果たすことに他なりません。そのような視座に立ち、私達は日頃市民の皆様からお寄せいた

く声を集約したうえで、会派内で議論を重ねて代表質問としての質問内容を組み立てていきました。そのうえで、私が会派を代表して一般質問に臨みました。

具体的な内容

まずは、厳しい寒さが続く中、厳しい選挙戦となった市長選挙の内容に言及しました。現在の、インターネットが普及し、SNSなどによる過激な発言が飛び交う状況下、そこまで言って良いのかとか、或いは、出典はどこにあるのかなど、所謂「言ったもの勝ち」の様相は深まるばかりです。

今回の市長選挙においても、そのような過激な書き込みを多々目にしました。そして、そこで見られた問題点や争点を何点か取り上げ、市長選挙を総括した質問としました。具体的な項目としては、次のようなものです。

- ・太陽光発電に関して、市長が高額接待を受け便宜を図ったとされる、ネット記事に関する事実内容の確認。
- ・旧城南医院跡地買収における計画の内容と、国庫補助金など財源及び、土地査定や買収金額の設定に関する事項。
- ・市道B八〇号に関する設計の考え方と、用地買収における経緯の確認。

※これらのことに関し、市長による不当な指示や、職員の付度があったかどうかについては、

市民皆様の関心が高いものであると思っております。

次に、新型コロナウイルス感染症に関して、私達が生きていくうえで欠くことのできない経済活動との両立を踏まえ、コロナ禍後も見据えた本市の施策実施の方向性について、市長の考えを質しました。

また、当面の課題である、市民の感染防止策について、第三回目以降のワクチン接種の状況や進め方について、さらには、我が会派として日頃から疑問に感じている、市民に対する「どのような数値に着目し、どのように行動すべきなのか」という効果的な情報提供のあり方について執行部を質しました。

続いて、産業振興策という視点から、津山流通センター及び久米産業団地の立地率が九十%を越えた現在、新たな企業立地



▲裏面に続く

会派未来

発行 政岡あきひろ事務所
活気ある津山へ 未来志向改革!!

〒708-0014 津山市院庄 621-2
Tel. 0868-28-0501 Fax. 0868-28-4437
E-mail masaokape@ebony.plala.or.jp

市議会の内容は津山市役所ホームページから配信しております。
[URL] <https://www.city.tsuyama.lg.jp/city/index2.php?id=392>

のために必要と考えられる工業団地等の整備について、コストダウンの手法や用地選定に関する事項について質問しました。

また、産業振興策としては、今回は農地の利活用に関する本市独自といえる取り組みや、踏み込んだ支援策の必要性に関する質問も行いました。この際、農地付物件を取得する移住者への支援策も訴えました。

次に、移住・定住支援策という視点から、現在の仕事・移住支援室で行われている積極的な取り組みを評価したうえで、今後におけるさらなる移住・定住支援策を質しました。

また、私は常々述べておりますが、優れた教育環境の構築や学力水準の向上を図ることが、移住・定住の強いインセンティブになると考えています。このことに基づき、教育、住民自治支援、そしてそれらを通じた人づくりの大切さについて、何点か質問しました。

具体的には、GIGAスクールや先進的なICT教育に積極的に取り組む為の通信環境整備の現状と今後の方向性について質問しました。併せて、令和三年度の総括と来年度の重点項目に関する質問もしました。

さらに、我が国全体における経済的な疲弊を背景に、高齢化や人口減少が大きく影を落とす地方の地域社会における住民自治活動に対する、行政による踏



み込んだ支援策の必要性について執行部を質しました。

そして、質問の締めくくりとして、それらの施策実施のために必要な、トップの意思を理解しフットワーク軽く動け、かつ内部統制のとれた組織体制の構築の重要性を説き、行財政構造改革に臨む市長の考え方を質しました。最後に、私がいつも述べている「人さえ良ければ」という考え方に立つ、人づくりの大切さについて、市長の思いを聴きました。

答弁内容

市長からは、まず、市道B八〇号や城南医院跡地買収のような社会資本整備や、太陽光発電事業などの許認可に際して、特定の誰かに便宜を図るような指示はしていないという明確な答弁がありました。これに関して、執行部（企画財政部長）からも、そのような付度はしていないという答弁がありました。

また、市長からは、感染症収束後を見据えた施策実施の方向性に

ついて、「ローカルファースト」の視点に立ち、本市独自の取り組みを実施していく方針であるという答弁がありました。さらに、産業振興策、移住定住推進策、自治体DXを含めた機構改革、行財政構造改革の推進、などに、市長は人づくりの大切さに関する思いも述べられました。

一方、教育長からは令和三年度の総括と、令和四年年度の重点項目が示され、学力調査で明らかになった読解力の向上に取り組むことや、不登校・長期欠席の早期発見・早期対応に努めたという答弁がありました。併せて、通信環境の充実を図り、さらなるICT教育の推進に取り組みするという答弁もありました。

また、ワクチン接種に関することも保健部長からの答弁では、三回目の接種率においても本市は全国平均や県平均を上回っているとの答弁がありました。さらに、住民が感染対策を講じるうえでより有効な情報提供を努めたいという答弁もありました。さらに、農林部長からは農地の利活用に対して、地域振興部長からは住民自治支援に関して、担当部署の強化を図りたいという答弁もありました。

終わりに

今議会では、市長選挙を終えたばかりの谷口市長の二期目に臨む思いを聴き、それぞれの課

題や施策実施について、会派を代表して質問しました。

誌面の関係で、詳細に触れることは出来ませんでした。本会議中継はYouTube等でも見られますので、是非ご覧ください。また、津山市政に関することなどで、お尋ねになりたいことなどがありましたら、気軽に声がけください。

今後も、市民の皆様の思いを形にし、津山市の将来のために資する施策実施の実現を図るために、精一杯取り組んでいく所存です。引き続き、変わらぬご指導ご鞭撻を、よろしくお願いたします。

※末尾になりましたが、本議会において三名の定数削減が実現しました。今後においても引き続き取り組んでいきます。

